

平成27年度第2回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成27年12月17日(木)

午前10時から午前11時

場 所 茂原市役所102会議室

出席者 委 員 16名

西條委員、久我委員(代理)、大木委員、木嶋委員、古市委員、花崎委員、
土屋委員、田中委員、米川委員、尾崎委員(代理)、高澤委員(代理)、
豊田委員、相澤委員、鈴木委員、佐久間委員、三橋委員

事務局 3名

生活課 片岡次長(生活課長)、交通防犯係 渡部係長、御園副主査

会議内容(進行:渡部係長)

1 開会 午前10時

2 会長あいさつ

3 議事

要綱第7条第1項に基づき、会長が議長となる。

同条第2項に基づき、出席委員16名で過半数のため会議成立。

(1)平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について

事務局より平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について説明

<質疑>

委員:豊岡方面の住民から、市民バスの運行時間と長生病院からの帰りの時間がなかなか合わないとの声もあります。

委員:運転免許自主返納者への割引制度は、今後とも継続して頂きたい。

委員:さらなるPRに努めてください。

事務局:今後とも運行の改善及び周知活動を行ってまいります。

採決の結果、賛成多数により承認。

(2) 茂原市市民バス更新車両(案)について

事務局より茂原市市民バス更新車両(案)を説明

委員：現在、市民バスにおいて車椅子での利用者はいますか。

事務局：実際に車椅子での利用者はおります。

委員：現在の車両は車椅子に対応した車両ですか。

事務局：車椅子での乗り降りに対応した車両となっております。

委員：高齢者の為の運行と謳っているが、実際に利用できている高齢者はとても少ない。

もっと利用してもらえるような方策や、デマンド交通においても、高齢者を対象とした年間一定額のタクシー券の配布にすることも検討して頂きたい。さらに、民間路線バスに市が補助をして運行本数を増やしてもらってもいいのではないか。

また、報告されている市民バスの利用者数は、対象となる高齢者の人数からすると、ごく一部であると認識してほしい。

委員：事務局は今後とも関係団体とよく話し合うようにしてください。

委員：車両の金額と、費用負担はどのようになりますか。

事務局：車両金額は約 1500 万円で、国庫補助の額が最大 750 万円であります。残りの約 750 万円を 5 年間の分割で運行委託料と併せて市が負担します。

委員：バックカメラの装着がされるよう要望します。

事務局：委託事業者の小湊鉄道へ確認します。

※バックカメラは装着すると確認済み

委員：ドライブレコーダーは装着されますか。

事務局：導入を予定しています。

採決の結果、賛成多数により承認。

(3) 茂原市市民バス広告掲載(案)について

事務局より茂原市市民バス広告掲載(案)を説明

委員：車両の更新や広告掲載の開始についての周知方法はどのように考えていますか。

事務局：広報もばら及び茂原市ウェブサイトにて周知を図るとともに、3月下旬に更新車両の出発式を行いたいと考えております。さまざまなメディアに取り上げてもらえるよう、情報発信をまいります。

委員：広告収入はどの程度見込んでいますか。

事務局：12か月間、車両広告面が全て埋まると、1台あたり40万8千円の広告収入となります。

採決の結果、賛成多数により承認。

(4) その他

委員：デマンド交通の運行委託について、単年度の契約であると受託する事業者としては初期コストの負担も大きいため複数年の契約にできないか。

事務局：複数年の委託契約は検討いたしましたが、市内に運行を委託できる事業者が複数いるため、単年度の契約としております。

委員：乗合運行の許可について休止届も可能ですので運輸支局まで相談ください。

事務局より前回の会議概要について訂正等があれば12月25日（金）までの連絡を依頼

議長解任

4 閉会 午前11時